

# 神道夢想流杖術 福岡劔杖塾



神道夢想流杖術 免許皆伝  
全日本剣道連盟 杖道 範士八段

富永彰三

今から四百年前の江戸幕府誕生の前後の時代、多くの武芸者が誕生しました。

神道夢想流杖術の開祖である夢想権之助勝吉もその一人です。

開祖は修行の旅を続け、筑前の国を訪れ、山伏の修行場として栄えた宝満山に籠り、苦行を重ねた後「丸木をもって水月を知れ」との信託を授かったと伝えられています。開祖はその言葉をもとに創意工夫し、四尺二寸一分（約一二八センチ）のカシの丸棒を作り、槍、太刀、なぎなたを融合した神道夢想流杖術を編み出したと伝えられています。

その後、黒田藩に召抱えられ、その技は藩外不出の武芸として幕末まで伝承されてきました。幕末の志士平野二郎國臣は杖術の達人としても知られています。

その後、一般に公開されるようになり、昭和に入ると全国に普及伝承され、現在では全日本剣道連盟に杖道形が制定され、古伝の神道夢想流杖術と共に活発に活動しています。杖道は形を極めるものなので、性別、体力、年齢に関係なく誰でもすぐに始められる開かれた武道です。



## 演武者

奥入	奥入	奥入	奥入	奥入	奥入	奥入	奥入	奥入	奥入	奥入	目録	目録	目録	目録	免許
山中	宮崎	藤木	橋本	灘	永田	蒲生	小川	江藤	入来	石橋	江藤	山本	城台	小川	米田
征生	清治	敬三	能弘	真由美	良臣	清一	千賀子	ルミ子	麻里	玲子	友子	みゆき	順子	直人	廉

# 世界空手道連盟 士道館 九州本部 福岡支部 飯島道場



世界空手道連盟士道館  
飯島道場絆福岡支部 支部長

真方 広 大 昭和五十六年生

世界空手道連盟士道館は、武道としての空手道、そして武士道精神という日本の伝統文化を海外に広める活動を精力的に行い、全世界六十八ヶ国に公認道場を持っています。

創始者である添野義二総帥（士 九段）は、極真会館主催第一回全日本空手道大会で準優勝、日本やタイでプロキックボクサーとしても、活躍し「極真の猛虎」と呼ばれていました。

その後、自身の新たな武道を求め一九七八年「世界空手道連盟士道館」を設立。

九州士道館は、大分に四道場・福岡に一道場がありますが、福岡支部は極真会館時代から添野総帥の直弟子で、士道館を支える飯島三治師範（士 九段）の飯島道場の分支部となります。士道館の特徴としては、大きく分けて四つの試合部門があります。

- 一．直接打撃制で、顔面攻撃のあるグローブ空手部門
- 二．掴み（三秒間）・首相撲・投げ技・関節技・絞め技、寝技（五秒間）が認められたフルコンタクト空手部門
- 三．的確な技でポイントを加算し競う、ノーコンタクト空手部門（オリンピックピクトルール）
- 四．型部門（古来からの伝統型や、士道館オリジナルの制定型で修練度を競います）

武道の精神を中心に、格闘技にも積極的に参戦し、キックボクシングや総合格闘技等の各プロ団体に士道館の選手やチャンピオンが多数活躍しています。

士道とは、自分の決めた道に命をかける事。

人それぞれの士道がある、人生には夢や目標が大事なので、まずは自分の士道を見つける事。そして「気高き精神は鍛え抜かれた肉体にのみ宿る」この士道館飯島道場理念を元に、楽しみながら日々、身体と精神を鍛えています。

押忍

## 演武者

士 初段	真方 広 大
士 一級	茂木 宏 介
士 二級	山下 清 貴
士 二級	山下 浩 二
士 二級	松本 知 之
士 二級	平井 孝 史
士 二級	小池 寛 裕
士 六級	赤塚 貴 裕
士 六級	尾崎 信 行
士 六級	森里 子
士 八級	三浦 理 子
士 八級	合野 亮 平
士 八級	井原 俊 紀
士 十級	森枝 匠

# 兵法二天一流劍術



兵法二天一流劍術

第十二代宗家

加治屋 孝則

兵法二天一流の流祖は、宮本武蔵藤原玄信である。幼少より剣の道に志し、その鍛錬は実に生死を超えたものであった。六十余度の勝負にも一度も敗北を知らなかった。しかるに三十にして己の剣を振り返り、憶念思考し「わが兵法至極にして勝にあらず」と自覚し、大いなる世界に立った。そしてなおも深き道理を得んと朝鍛夕錬し、五十にして実相円満の兵法二天一流を創始した。実相円満とはこの世の中そのままを円満に、すなわち六道輪廻のこの世界そのままをありがたくいただく、空ずる兵法だというのである。兵法を得道して忽ち巖の如くなりて、万事あたらざる所、動かざる所がその心である。

後年におよび悟徹せる万里一空の剣理は、絵画彫刻に至るまでその極を究め、実に国宝数点を残している。また武蔵の著『五輪書』、『独行道』、『兵法三十五箇条』は現今も世界の人びとに愛読され、百世の指針とされている。刀法に太刀勢法、小太刀勢法、二刀勢法などが伝承されている。

系譜 流祖・宮本武蔵藤原玄信―二代 寺尾求馬助信行―三代 寺尾郷右衛門勝行―四代 吉田如雪正広―五代 山東彦左衛門清秀―六代 山東半兵衛清明―七代 山東新十郎清武―八代 青木規矩男久勝―九代 清長忠直政実―十代 今井正之信勝―十一代 岩見利男玄勝―十二代 加治屋孝則香玄

流儀の特徴 当流においては兵法は心の修行にあると説き、心ができなければならぬ、心がもどたと説いている。また、兵法は利方すなわち悟りを開く方便だとも言っており、心ができなければ勝負には勝てないというのである。

刀法の特徴は、相手の剣を知って剣を見ず、即ち相手の剣がまだ動かない前を打つて勝つ機前の太刀である。



演武者

宗家	加治屋	孝則
免許	吉原	晴次
免許	磯部	健一
目録	月森	慎悟
目録	前田	典子

# 雑餉太鼓振興会

雑餉太鼓振興会 指導員

稲 永 勝 英

雑餉地域で、太鼓好きの有志達が集まり、結成されて三十五周年を迎えます。地域での新年会、町内会のお祭りや、会社の式典、結婚式、博多どんたく、小学校の部活活動の指導や、色々な場面で演奏させて頂いています。

男女を問わず、二十代からシニア世代まで、とても仲の良いファミリー隊で楽しくやっています。部員募集中です！  
打ち出しされる太鼓の、勇壮で人の心に訴える迫力ある響きは私たちの「心のふるさと」です。

日本の伝統文化を未熟な私達ですが、皆様方にお伝えできたらと思っています。  
チャップ、和太鼓の共演をお楽しみください。



演奏者

指導員

稲 永 勝 英  
大 石 智 子  
大 井 京 子  
酒 井 音 子  
大 藤 朱 音  
服 部 和 樹  
木 村 厚 夫